

【 記 入 要 領 】

○調査票：国費外国人留学生（高等専門学校留学生）等の受入れ可能数調査

※ 提出部数 1 部（該当がない場合もその旨記入し提出すること）

※ 本調査では、平成 21 年 4 月に 3 年次編入学する国費外国人留学生（高等専門学校留学生）及び平成 20 年 4 月に 3 年次編入学するマレーシア政府派遣留学生を対象としている。

1. 数字は半角で記入し、フォントの変更、セル内の改行、多量のスペースの挿入は行わないこと。（ただし、行数を増やすことは差し支えない。）
2. 行数が不足する場合は、必ず新たに行を挿入して記入すること。（別シートに記入するなど表を複数に分けないこと。）
3. 留学生の受入れが可能な学科についてのみ記入すること。
4. 「高専コード」欄には、平成 18 年度全国高等専門学校一覧の番号を記入すること。  
（例：15 の場合は「0015」と記入）
5. 「専門項目等」欄には、以下から該当する分野の番号及び専門項目等を記入すること。（記入例：「(1)－①機械要素・材料加工」)

分野（番号のみ記入）	専門項目等		
(1) 機械	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① 機械要素・材料加工                      ② 材料科学・力学                      ③ 流体・熱工学                      ④ 機械システム設計・制御                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑤ CAD/CAM                      ⑥ マイクロニクス                      ⑦ ロボット工学                 </td> </tr> </table>	① 機械要素・材料加工 ② 材料科学・力学 ③ 流体・熱工学 ④ 機械システム設計・制御	⑤ CAD/CAM ⑥ マイクロニクス ⑦ ロボット工学
① 機械要素・材料加工 ② 材料科学・力学 ③ 流体・熱工学 ④ 機械システム設計・制御	⑤ CAD/CAM ⑥ マイクロニクス ⑦ ロボット工学		
(2) 電気・電子	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① アナログ回路                      ② 電力システム                      ③ パワーエレクトロニクス                      ④ デジタル回路                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑤ 集積回路                      ⑥ 電気・電子材料                      ⑦ 電気・電子機器                      ⑧ 電気・電子制御                 </td> </tr> </table>	① アナログ回路 ② 電力システム ③ パワーエレクトロニクス ④ デジタル回路	⑤ 集積回路 ⑥ 電気・電子材料 ⑦ 電気・電子機器 ⑧ 電気・電子制御
① アナログ回路 ② 電力システム ③ パワーエレクトロニクス ④ デジタル回路	⑤ 集積回路 ⑥ 電気・電子材料 ⑦ 電気・電子機器 ⑧ 電気・電子制御		
(3) 情報・通信・ネットワーク	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① 信号・画像処理                      ② 有線通信                      ③ 無線通信                      ④ 情報通信                      ⑤ 衛星通信                      ⑥ マイクロ波                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑦ ソフトウェア工学                      ⑧ コンピュータグラフィクス                      ⑨ オペレーティングシステム                      ⑩ 周辺機器とインターフェース技術                      ⑪ コンピュータネットワーク                      ⑫ 通信制御                 </td> </tr> </table>	① 信号・画像処理 ② 有線通信 ③ 無線通信 ④ 情報通信 ⑤ 衛星通信 ⑥ マイクロ波	⑦ ソフトウェア工学 ⑧ コンピュータグラフィクス ⑨ オペレーティングシステム ⑩ 周辺機器とインターフェース技術 ⑪ コンピュータネットワーク ⑫ 通信制御
① 信号・画像処理 ② 有線通信 ③ 無線通信 ④ 情報通信 ⑤ 衛星通信 ⑥ マイクロ波	⑦ ソフトウェア工学 ⑧ コンピュータグラフィクス ⑨ オペレーティングシステム ⑩ 周辺機器とインターフェース技術 ⑪ コンピュータネットワーク ⑫ 通信制御		
(4) 物質・材料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① 金属工学                      ② 無機材料工学                      ③ 有機材料工学                      ④ 高分子化学                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑤ 化学工学                      ⑥ 生物化学                      ⑦ 生物工学                      ⑧ 環境工学                 </td> </tr> </table>	① 金属工学 ② 無機材料工学 ③ 有機材料工学 ④ 高分子化学	⑤ 化学工学 ⑥ 生物化学 ⑦ 生物工学 ⑧ 環境工学
① 金属工学 ② 無機材料工学 ③ 有機材料工学 ④ 高分子化学	⑤ 化学工学 ⑥ 生物化学 ⑦ 生物工学 ⑧ 環境工学		

分野（番号のみ記入）	専門項目等										
(5) 建築・土木	<table border="0"> <tr> <td>① 建築設計</td> <td>⑥ 土木材料・施工</td> </tr> <tr> <td>② 建築構造</td> <td>⑦ 測量</td> </tr> <tr> <td>③ 建築材料・施工</td> <td>⑧ 水理学</td> </tr> <tr> <td>④ 建築史</td> <td>⑨ 地盤工学</td> </tr> <tr> <td>⑤ 構造力学</td> <td>⑩ 都市計画</td> </tr> </table>	① 建築設計	⑥ 土木材料・施工	② 建築構造	⑦ 測量	③ 建築材料・施工	⑧ 水理学	④ 建築史	⑨ 地盤工学	⑤ 構造力学	⑩ 都市計画
① 建築設計	⑥ 土木材料・施工										
② 建築構造	⑦ 測量										
③ 建築材料・施工	⑧ 水理学										
④ 建築史	⑨ 地盤工学										
⑤ 構造力学	⑩ 都市計画										
(6) 商船	<table border="0"> <tr> <td>① 航法</td> <td>⑥ 造船学</td> </tr> <tr> <td>② 測位</td> <td>⑦ ティーセル機関</td> </tr> <tr> <td>③ 操船学・運用学</td> <td>⑧ 船舶補機</td> </tr> <tr> <td>④ 海洋・気象学</td> <td>⑨ 船舶材料</td> </tr> <tr> <td>⑤ 海法</td> <td></td> </tr> </table>	① 航法	⑥ 造船学	② 測位	⑦ ティーセル機関	③ 操船学・運用学	⑧ 船舶補機	④ 海洋・気象学	⑨ 船舶材料	⑤ 海法	
① 航法	⑥ 造船学										
② 測位	⑦ ティーセル機関										
③ 操船学・運用学	⑧ 船舶補機										
④ 海洋・気象学	⑨ 船舶材料										
⑤ 海法											
(7) その他	<table border="0"> <tr> <td>① 国際コミュニケーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 経営情報工学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ その他（具体的に）</td> <td></td> </tr> </table>	① 国際コミュニケーション		② 経営情報工学		③ その他（具体的に）					
① 国際コミュニケーション											
② 経営情報工学											
③ その他（具体的に）											

※1 専門項目等は、内容がほぼ同一と思われるものを記入すること。  
(全く同一名称でなくとも差し支えない。)

※2 各学科で分野が複数ある場合は全てを記入すること。  
(同一のセルに詰め込んで記入すること。)

※3 毎年、専門項目の番号のみを記入している例が見受けられるが、記入例のとおり番号と専門項目名を記入すること。  
(分野に関しては番号のみでよい。)

6. 「受入可能数」欄には、各学科ごとの受入可能数を記入すること。

7. 「内訳」欄には、受入留学生の区分に従って「受入可能数」の内訳を記入すること。

8. 「高専全体の受入可能数」欄には、各学科ごとの受入可能数を考慮した上で、高専全体として受入れ可能な数を記入すること。

9. 「女子受入可否」及び「女子寮設置の有無」欄には、「○」又は「×」のいずれかを記入すること。

10. 「備考」欄には、特記する事項を記入すること。